

世界かんがい施設遺産

まんのういけ

満濃池

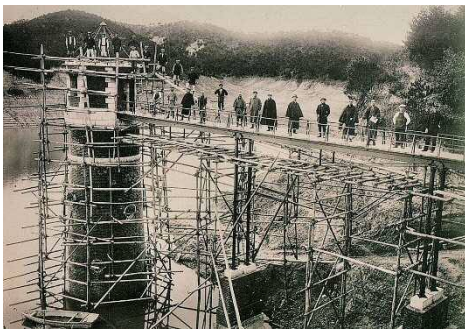
[香川県・まんのう町]

- 満濃池は、今から1300年前に創築。決壊後、821年に高僧・空海が、延べ38万人もの労働力を用いて僅か2ヶ月余りで再築。
- 再築にあたり、アーチ型堤防、余水吐、護岸柵（しがらみ）という新工法を採用。
- その後、決壊と再築を繰り返し、1900年以降の3度の嵩上げ工事を経て、日本最大級の農業用ため池へ変貌。
- 先人たちが築いた地域独自の水利慣行を今もなお厳格に実施。

空海が工事の無事を祈願したとされる護摩壇岩

Mannou-ike Reservoir

先人の英知と技術により
守り継がれる
日本最大級のため池



上：1914年の取水塔工事の様子
下：現在の満濃池（正面・取水塔）

満濃池全景